

# 柏崎刈羽原発 再稼働の動き 許すな！

## 地元同意前 異例の6号機への核燃料装填に抗議します

東電は再稼働への地元同意を得ない段階で10日から2週間の予定で6号機に核燃料を装填しています。装填は実質的な再稼働に等しいもので、他の電力会社ではすべて地元の同意を得た後で装填しています。

東電は昨年4月にも地元同意がないまま7号機に燃料を装填しましたが、なぜそのように急いで装填するのか？それは、9か月経っても稼働しない場合、交付金を大幅に減額する仕組みになっていることを使って、再稼働を急かすというねらいだとも言われています。

原発にはテロなど重大事故対策の特重施設設置が義務付けられています。しかし完成していなくても5年間は猶予期間として稼働できるといふ許しがたい抜け穴があります。

私たち県民の不安を置き去りにし、県民の理解を得ないまま強行したことに強く抗議します。

## 全県民の意思を尊重するよう花角知事に求めます



県民投票条例否決後、花角知事が取り組み始めた「県内首長との意見交換」「公聴会の開催」「県民意識調査の実施」。音声のみの公聴会を6月末〜8月末の間に県内5カ所で開くと発表。県民の傍聴を認めず非公開です。公開の上、全市町村で実施するなど多くの県民の声にしつかり向き合うよう求めます。

## 「原発緊急時対応」住民説明会

6月7日に長岡市で開催。膨大な資料で「安全な」避難について長時間の説明。全く不十分な質問時間で、不安が一層募るばかり。対策を聞けば聞く程、原発がいかに危険なものが明らかに。参加した方から寄せられた感想を紹介します。

あんなもんだらう…と思っていました！住民・市民の不安や素朴な疑問に答える会では無くアリバイ作りでしかない会でした。腰にずっしり重い資料を持たされましたが、規制庁の逃げの姿勢は犯罪的でした。

私は質問用紙の裏に

一、報告は、前提が皆楽観的で希望的推論だ。

二、結論ありきの総論展開…。

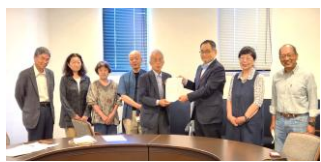
三、事故発生当時に原因究明と改善策を求め、東電の説明を鵜呑みにしている(セザルを得ない…) 現実…。等を書いて帰りました。

反映は期待できませんが。

サテライト会場等と結んだ参加者達の熱意と連帯を感じました。まさに闘いはこれからですね！

(河合靖久)

## 県民投票で決める会長岡 活動報告



県民投票で決める会・会長岡実行委員会は、6月13日に磯田市長宛に要請書を提出し、原子力安全対策室長らと懇談しました。要請内容は、知事が県民の意見を把握するとした方法について、多くの市民の声が反映されたものになるよう尽力を求めるものです。

6月16日には、花角知事に申入れを行いました。

\*6月23日に「県民投票条例制定署名活動のまとめと原発再稼働について考える会」開催

なくそテ原発2025柏崎集会は9月21日(日)に開催されます。貸し切りバスも用意します。声をかけ合い大勢でご参加を！

選挙で変えよう！ 原発のない日本へ!!



7月のアオーレ前宣伝行動は7月11日(金) 16時~16時30分 \*ぜひご参加を

原発ゼロ長岡市民ネットニュース  
第159号 2025年6月23日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15  
電話・FAX 0258-24-2870  
佐藤 090-4925-3707